

1 学年国語科学習指導案

1. 単元名 こえにだしてよもう
教材名 「くじらぐも」

2. 単元について

(1) 児童について

1年生の児童は、国語の学習に意欲的に取り組んでいる。ひらがなの学習を終え、読むこと書くことに対しても積極的である。一学期に学習した「おむすびころりん」では、ワークシートを使って場面ごとに重要語句の抜き書きを行い、その語句をもとに登場人物の気持ちを吹き出しに書く活動を行った。回数を重ねるごとに、抵抗なく書くようになり場面の様子や登場人物の気持ちを想像できるようになってきた。まとめの段階では、1年生が1人であり、役割読みや動作化等の活動が狭められてしまうためT2が入り、自分が書いた吹き出しを入れながら音読をしたり、動作化をしながら役割読みをしたりとリズムに合わせて楽しんで活動した。

(2) 教材について

第1・2学年の「C読むこと」における目標は、「書かれている事柄の順序や場面の様子などに気づきながら読むことができるようにするとともに、楽しんで読書しようとする態度を育てる。」である。これを受けて、本単元では「登場人物の様子などを想像したり、声に出して読んだりして、物語を楽しむ。」を主目標とする。

本教材は、児童と同じ1年生が主人公である。体育の授業時間という現実の世界と雲に飛び乗って空を飛ぶという空想が入り交じっており、読んでいるうちに空想の世界に入り込み、作中の子ども達と共に大空の旅を楽しむことができる。

この作品は、起承転結がしっかりしていて、ストーリーは時間的経過に沿って進められていて分かりやすく、場面の展開がダイナミックで、動きのある作品である。また繰り返しが多く真似のおもしろさが強調されている。そのうえ、物語の中では子ども達の日常会話がそのまま取り入れられ親しみやすく、読むことの楽しさを味わえる教材である。

(3) 指導にあたって

本教材を指導するにあたっては、音読を中心に学習を進めていく。読み取ってイメージしたことを音読により表現させていきたい。音読は、教師との役割読み、書き加え読み、動作化を加えて読むなどさまざまな形式で行う。また、動作化のための場を工夫したり、ワークシートを工夫することで児童が主体的に取り組み、場面の様子や人物の気持ちを生き生きと想像していけるようにしていきたい。ワークシートは、場面ごとに取り上げていきたい語句の抜き書きや、吹き出しへの書き込みを中心に行う。吹き出しは、教師からも提示することによって少しでも深められるようにしていきたい。

一人学びでは、自力で進められるようにヒントカードを用意すると共に、T2が入り、つまづいた時の支援や役割読みや動作化の際の相手を行う。

(4) 仮説にかかわって

重要語句を明らかにし、確かに読み取るための発問、指導の手立て。

- ・ 場を設定し、1ねん2くみの子どもたちの動きを動作化させることによって、語句の意味を理解したり、場面の様子を想像したりするための手立てとする。
- ・ 繰り返し出てくる文型や、～もという叙述に着目させるための発問をして、場面の様子を豊かに想像させる。

重要語句に着目した読み取る力を身につけられるような支援。

- ・ ヒントカードを用意し、間接指導の際にも進められるようにする。
- ・ 児童が学習の進め方を理解してすすめられるように、学習の進め方を学習シートに明記する。

3. 指導目標

関心・意欲・態度

- ・ 場面の様子を想像しながら読んだり、音読や動作化などを工夫したりして、お話を楽しもうとしている。

読む力

- ・ 体操の時間や雲の上の様子などについて、想像を広げながら読むことができる。
- ・ 語や文としてのまとまりや内容、呼びかける声の大きさなどを考えて、声に出して読むことができる。

言語の力

- ・ 片仮名を正しく読んだり書いたりできると同時に、語句の意味を正しくとらえて使うことができる。

4. 指導計画(10時間扱い、本時6時間目)

	主な学習活動	評価規準	具体的評価規準		努力を要する子への支援
			A	B	C
第一次 つかむ(2)	1全文を通読し、くじらぐものあらすじをつかむ。	(読)挿絵をもとに、順番に物語のあらすじをつかむことができる。	挿絵を並べ替え「いつ」「どこで」「だれが」「なにをした」話を話することができる。	挿絵を並べ替え、挿絵を見ながら「いつ」「どこで」「だれが」「なにをした」ところかを話することができる。	あらすじをつかむことができないう場合には、教科書を見ながら挿絵を並べ、確かめさせる。
	2お話の中で好きな場面やおもしろいところを見つけて発表する。	(読)作品のおもしろさに気づき、好きな場面やおもしろいところを話することができる。	登場人物の様子やお話の中の語句に着目し、理由をつけて話することができる。	登場人物の様子やお話の中の語句に着目して話することができる。	見つけられない場合には、挿絵の中から好きな場面やおもしろいところを見つけさせる。

<p>第二次 まなぶ (5)</p>	<p>3 くじらぐもと 1 ねん 2 くみの 子どもたちとの 出会いの場面の 様子を読み取る。</p>	<p>(読)~もに着目 し,くじらぐもが 子どもたちのま ねをしている様 子を読み取り,工 夫して動作化す ることができる。</p>	<p>~もに着目し, くじらがまねを する様子を動作 化することができる。 また,くじらの子 どもたちへの気 持ちを2つの吹 き出しに書き, 書き加え読み ができる。</p>	<p>~もに着目し, くじらがまねを する様子を動作 化することができる。 また,くじらの子 どもたちへの気 持ちを吹き出し に書くことができ る。</p>	<p>くじらぐもがま ねをしている様 子を動作化でき ないときは,~ もの使い方を 確認し,子ども の動作をやっ てみせ,まねを させる。 吹き出しは,場 を設定し,動作 化させる中で 考えさせる。</p>
	<p>4 お話をする, くじらぐもと1 ねん 2 くみの 子どもたちの 様子を読み 取る。</p>	<p>(読)~もに着目 し,くじらぐも が子どもたちの まねをしている 様子を読み取り, 工夫して音読 することができる。</p>	<p>~もに着目し, 子どもたちとく じらぐもに分 かれ,速さや間, 声の大きさに 気をつけて役 割読みをす ることができる。 また,くじらぐ もと子どもた ちの会話を考 えて吹き出し に書き,書き加 え読みが できる。</p>	<p>~もに着目し, 子どもたちとく じらぐもに分 かれて,声の 大きさに気 をつけて役割 読みをす ることができる。 また,くじ らが子ども たちに話 しかけた ことを考 えて吹き 出しに 書くこ とができ る。</p>	<p>役割読みが できない 場合は, ~もの 使い方 を確認 し,誰 が話 した こと か確 かめ てか ら読 ませ る。 吹き 出し は,前 に進 もう とす るく じら ぐも と,そ れを 追 いか ける 子 ど も た ち の 挿 絵 を 使 い, 考 え さ せ る。</p>
	<p>5 ジャンプする 1 ねん 2 くみの みんなと,応援 するくじらぐ もの様子 を読み 取る。</p>	<p>(読)くじらに 飛び乗ろうと する子ども たちと,応援 するくじら ぐもの様子 を読み取り, 工夫して音 読や動作化 をす るこ とが でき る。</p>	<p>三十センチ, 五十センチの 語句から子 どもたちの 様子を動作 化し,速さや 間,声の 大きさに 気をつけて 役割読み をす るこ とが でき る。 また, くじら ぐもに 乗ろ うと す る子 ど も た ち の 気 持 ちと, 子 ど も た ち を 応 援 す る く じ ら ぐ も の 気 持 ち を 吹 き 出 し に 書 き, 書 き 加 え 読 み が でき る。</p>	<p>三十センチ, 五十センチ の語句から 子どもた ちの様 子を動作 化し,声 の大き さに気 をつ けて役 割読み をす るこ とが でき る。 また, くじら ぐもに とび 乗ろ うと す る子 ど も た ち の 気 持 ち を 吹 き 出 し に 書 くこ とが でき る。</p>	<p>動作化, 役割 読み が でき ない 場 合 は, 挿 絵 の 子 ど も た ち の 動 き と 誰 が 話 し た こ と か を 確 認 す る。 吹き 出し は,場 を 設 定 し, 動 作 化 さ せ る 中 で 考 え さ せ る。</p>

第三次 いかす(3)	6 あおい空の中をすすむ,1ねん2くみのみんなとくじらぐもの様子を読み取る。(本時)	(読)あおい空の中をすすむ,1ねん2くみのみんなとくじらぐもの様子を読み取り,話したことを考えて音読することができる。	うみのほうへ,むらのほうへ,まちのほうへ。という語句から,くじらぐもに乗った子どもたちが空から見た物や感じたことを想像し,3つの吹き出しに書き,書き加え読みができる。	うみのほうへ,むらのほうへ,まちのほうへ。という語句から,くじらぐもに乗った子どもたちが空から見た物を想像して2つの吹き出しに書き,書き加え読みができる。	子どもたちと,くじらぐもが話したことを想像できない場合は,挿絵を見ながら空から見たものを考え,吹き出しに書く。
	7 お別れをする1ねん2くみのみんなとくじらぐもの様子を読み取る。	(読)お別れをする1ねん2くみのみんなとくじらぐもの様子を読み取り工夫して音読することができる。	お別れをするときのくじらぐもと子供たちの会話を想像し,速さや間,声の大きさに気をつけて書き加え読みをすることができる。	お別れをするときのくじらぐもと子供たちの会話を想像し,声の大きさに気をつけて書き加え読みをすることができる。	会話が想像できない場合には,動作化しながら,「さようなら」に続く言葉を考えさせる。
	8 お話をふり返り,くじらぐもに手紙を書く。	(書)くじらぐもへの手紙に自分が感じたことを書くことができる。	楽しかったことやお礼,お願い,話したいことなど,複数の視点から考えて話しかける言葉で書いている。	おもしろかったこと,楽しかったことなどを話しかける言葉で書いている。	質問だけになってしまう児童には,「自分がどう思うか。」を考えさせる。
9 お話したい雲を探して,カードに書く。	(書)雲に話しかける言葉で,自分が感じたことを書くことができる。	見つけた雲の形を絵にかき,雲と話したことを書いたり,雲の応答を書いたりしている。	見つけた雲の形を絵にかき,雲と話したことを書いている。	話したい内容が見つからない児童には,くじらぐもと似た雲を見つけさせ,聞いてみたいことや言いたいことを口頭で言わせた後,吹き出しをつけて書かせる。	
10 カードを見せながら,雲とお話したいことを発表する。					

5. 本時の展開

(1) 目標

あおい空の中をすすむ，1ねん2くみのみんなとくじらぐもの様子を読み取ることができる。

(2) 評価規準

あおい空の中をすすむ，1ねん2くみのみんなとくじらぐもの様子に興味をもって読もうとしている。(関心・意欲・態度)

あおい空の中をすすむ，1ねん2くみのみんなとくじらぐもの様子を読み取り，話したことを考えて音読することができる。(読む力)

(3) 仮説にかかわって

重要語句を明らかにし，確かに読み取るための発問，指導の手立て。

- ・ 「うみのほうへ」「むらのほうへ」「まちのほうへ」を深める発問をすることで，くじらぐもと子どもたちが，いろいろな場所へ行ったことに気づかせ，雲の上での会話を考えるための手立てとする。
- ・ くじらぐもにのっているような場を設定し，自分が考えた吹き出しを話すことによって，青い空の中を元気に進む子どもたちやくじらぐもの様子や気持ちを想像するための手立てとする。

重要語句に着目した読み取る力を身につけられるような支援。

- ・ 吹き出しに子どもたちやくじらぐもの会話を書くための手がかりとなるようなヒントカードを用意し，間接指導の際にも進められるようにする。
- ・ 児童が学習の進め方を理解して進められるように，学習の進め方を学習シートに明記する。
- ・ ヒントカードを使っても自力で学習が進められなかった場合は，T2が支援を行う。

(4) 展開

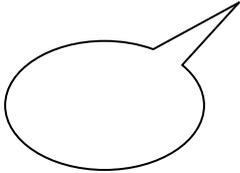
1年生				形態 (時間)	
留意点	支援	評価	重要語句	学習活動	
・くじらぐもに飛び乗った場面であったことを挿絵を使って確認する。				1 前時の想起をする。 2 本時の学習課題をつかむ。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px auto;"> みんなはくじらぐもにのって、どんなおはなしをしたか、かんがえてよみましょう。 </div>	つかむ 5分
うみのほうへ むらのほうへ まちのほうへ ・早く終わったら、視写ノートを出して、本時学習場面を視写させる。 吹き出しに書くことができない場合は、ヒントカードを用意し、教師が考えた吹き出しを参考にさせる。 教師が書いた吹き出しも用意しておき、深められるようにする。 あおい空の中を進むくじらぐもと子どもたちの様子を読み取り、お話を想像することができるか。 (シート)				3 学習内容を読み取る。 T 2と一緒に本時、学習内容を音読する。 くじらぐもと子どもたちがすすんでいったところを見つけてサイドラインを引く。 サイドラインを引いたところをもとに、ワークシートに書きこみをする。 教師と一緒に、くじらぐもと子どもたちが、いろいろな場所へげんきいっぱいすすんでいったことを確認する。 くじらぐもにのった子どもたちが、会話したことを考え、ワークシートの吹き出しに書く。 どんな会話をしたかを教師と話し合う。 T 2と一緒にくじらぐもの上に乗る、書き加え読みの練習をする。	ま な ぶ 30分
・2年生を相手に音読する。 場面の様子に合った読み方で、音読することができるか。 (音読) ・2年生と学習の感想を交流する。				4 本時の学習をまとめる。 吹き出しをつけたしながら、音読する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px auto;"> ・大きな船が見えるよ。すごいね。 ・高くて気持ちいいね。 </div> 5 今日の学習の感想を書き、次時の学習内容を確認する。	い か す 10分

(5) 具体の評価規準と努力を要する子への支援

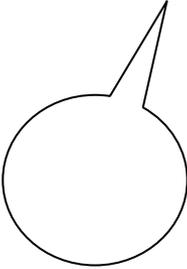
	関心・意欲・態度	読む力
十分満足な子	くじらぐもに乗って旅をする子ども達の様子をいろいろと想像して、読み方を工夫したり動作化したりしようとしている。	うみのほうへ、むらのほうへ、まちのほうへ。という語句から、くじらぐもに乗った子どもたちが空から見た物や感じたことをを想像し、3つの吹き出しに書き、書き加え読みができる。
概ね満足な子	くじらぐもに乗って旅をする子ども達の様子をいろいろ想像して楽しみ、工夫して音読しようとしている。	うみのほうへ、むらのほうへ、まちのほうへ。という語句から、くじらぐもに乗った子どもたちが空から見た物を想像して2つの吹き出しに書き、書き加え読みができる。
努力を要する子への支援	くじらぐもに乗って旅をする楽しい場面であることを確かめ、関心をもたせるようにする。	子どもたちと、くじらぐもが話したことを想像できない場合は、挿絵を見ながら空から見たものを考え、吹き出しに書く。

(6) 板書計画

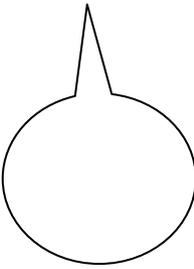
あおい空をすすむ子どもたちとくじらぐもの挿絵



むらのほうへ



うみのほうへ



まちのほうへ

空から見えるけしきの挿絵

くじらぐも

みんなはくじらぐもにのって、どんなおはなしをしたか、かがえてよみまじょう。

なかがわ りえこ さく

